

山行報告書				
日時	2022年8月10日(水)～8月14日(日)		天候	—
山名	北アルプス(白馬三山(白馬岳・杓子岳・白馬鑓ヶ岳))			
CL	こーちゃん	参加者	O山、K村、フジ、M澤(総勢5名)	
8/10(水) ～8/11(木) 曇り	博多=(高速バス)=名古屋=(JR特急)=松本=(JR)=白馬=(タクシー)=猿倉荘			
8/12(金) 晴れ時々曇り	猿倉荘5:00…白馬尻小屋…岩室跡…12:40白馬山荘…13:55白馬岳14:10…14:20白馬山荘 (実行動時間:5:30)			
8/13(土) 晴のち雨	白馬山荘5:00…丸山…杓子岳…白馬鑓ヶ岳…分岐…11:00白馬鑓温泉小屋 (実行動時間:4:50)			
8/14(日) 晴	白馬鑓温泉小屋5:00…9:10猿倉荘 (実行動時間:3:40)			
O山 感想	<p>台風の予報と裏腹で良い天気恵まれ、忘れられない素晴らしい山行になりました。</p> <p>1日目、初体験の深夜バス。リクライニングシートやカーテンで個室化されラグジュアリー感があり、ぐっすり眠れまるかと期待していたのですが、結構揺れてあまり眠れませんでした。また松本から白馬駅まで時間が長く本当に遠いところにあるなあと感じました。とはいえ、バスの予定をタクシーに切り替え1時間以上早く着き、陽の高いうちから楽しい宴会ができました。</p> <p>2日目は、待望の大雪渓歩きです。大雪渓の前に見上げると蟻の行列のように人が行進していました。昨日タクシーの運転手から、雪渓の落石は音が聞きづらく滑るように落ちて来て速いので大変危険だから注意してと言われていましたが、本当に大きな石がこーちゃんさん、私たちの列に向かって転がってきて、びっくり仰天です。ロックと大声で連呼し右方向へ逃げましたが、こーちゃんさんはジッと向かってくる岩を見定め交わしておりました。流石、百戦錬磨だなあと感心しました。2時間以上の楽しい雪渓歩きを終えるとがれ場などが延々続く登りとなり、メンバーの中にはバテバテでふらふらになる人もいました。やっとの思いで白馬山荘に辿り着く事が出来ました。苦勞のご褒美には霧も晴れ、劔岳などの山並が一望できる素晴らしい景色が待っていました。こんな景色を眺めてのビールは最高に美味かったです。</p> <p>3日目、予報では台風の影響で天気が崩れ、白い朝霧の中の行進になると心していましたが、予報を裏切りピーカン照りでチョウシ岳と白馬槍ヶ岳を縦走出来ました。特に白馬槍ヶ岳の頂上からの眺めは絶景で、360度大パノラマ、劔岳から槍ヶ岳までくっきりと稜線が見渡せました。また振り返ると昨日お世話になった白馬山荘と白馬岳の美しい姿も堪能しました。惜しみつつ白馬槍温泉に向かうのですが、霧が立ち込め時々雨も降り、予想以上に鎖場や岩場に足を取られ膝を擦りむきながら、槍温泉に着きました。身体も濡れ冷えていたので熱めの温泉は身も心も癒やしてくれました。湯上がりりのビールも格別でした。</p> <p>4日目、槍温泉からスタートした猿倉荘に戻ってきましたが、途中、滑りやすい鎖場や岩場、また右側が急斜面となるトラバースが長く続いてハラハラしながらの下山となりました。</p> <p>無事下山し、白馬駅近くの白馬八方温泉で山行の仕上げとなり、最高のイベントとなりました。</p>			
K村 感想	<p>私は10年以上前に柵池からのコースで白馬三山縦走を行っているが、今回は猿倉荘から大雪渓を登るコースであり、非常に楽しみにしていた。2時間半もかかる雪渓歩きは初めてである。今回初めてチェンスパイクを装着した。ヘルメットも初めて被った。大雪渓を登り始めてしばらくすると大きな石が、雪渓を横断する形で転がってきた。ところが突然方向転換し、我々の方に向かって真正面から落ちてきた。すかさず避けて事無きを得たが、仮に自分と離れたところを転がって落ちてきたとしても、直前で自分の方に方向転換する可能性もあり本当に怖いと思った。大雪渓が終わると急登が続いた。本当にきつく、バテてしまい休み休み登った。時間がかかり皆に迷惑をかけてしまった。その後の山行は問題なくタイムスケジュール通りにいった。下山途中にある鑓温泉小屋の露天風呂のお湯はかなり熱かった。熱くしてしばらくは首まで浸かれなかった。お湯は透明できれいだった。女性専用の内湯もあったが、こちらは白く濁っていた。全体を通じて4日間天気に恵まれ最高の山行であった。</p>			
フジ 感想	<p>ずっと前から行きたかった白馬岳でしたが、当初は天候がどうかと心配しましたが荒れる事なく最高の景色が見れてとても満足でした。長い雪渓を沢山の人が登っている光景は凄かったです。それより大きな落石が真横を通って行ったのには大変怖い体験をしました。少し花は枯れていましたが沢山の種類の花が見れたのは良かったです。また白馬鑓温泉小屋の温泉は山行の疲れが取れました。計画をしてくださったリーダーには感謝します。</p>			

<p>M澤 感想</p>	<p>出発6時間前ニュース速報台風発生それもお盆関東直撃が流れました。リーダーから連絡なし、登山なし宿泊まりの3日間になるかと思いの出発でした。翌日あまり良い天気ではありませんでしたが出発です。でも人出は多く雪渓を登って行きます。福寿草山行の時の数倍直径1メートル以上はある落石が又もやリーダーに向かって来ました。運良く避けられリーダーの「落、落」の大声が響きました。ニュースになってないので皆無事だったのだと思いました。落石の恐ろしさを実感しました。人から雪渓のあとが何遍登ってもきつかったと聞いていましたが、酷くへばり者のお陰で(申し訳ない!)休み、休みになり助かりました。少し終わりかけたお花畑にも癒されました。白馬山荘に着き暫くすると、外に絶景が広がってました。劔岳左奥には黒部ダムまでがクッキリ視れ、宿泊まり人総出で魅了されていました。次の日にも杓子岳、白馬鑓と遠くに槍ヶ岳も視れる大パノラマの感動の縦走でした。白馬鑓温泉に着くまでガスも出て来て鎖場ありの下りでしたが、見た事ないチングルマの群生がピンクわた毛になり、ピンクの絨毯を引き詰めた様な下りでした。鑓温泉ではグリーンの温泉で身体を癒し、絶景が視れた事に感謝しました。</p>
<p>こうちゃん 感想</p>	<p>出発時に台風発生の情報を受けて、大荒れの天気も想定しましたが、予想外に大変良い天気に恵まれました。みなさんも書いていますが、大雪渓での落石はヒヤリとしましたが、大事なくて良かったです。猿倉荘～白馬岳の登りは、1日で1,700m上げたため結構厳しかったです。白馬山荘からの縦走路は、台風の影響で霧の中を覚悟していただけに、晴れて良かったです。特に白馬鑓ヶ岳山頂からは、立山・劔岳はもちろん、槍ヶ岳まで綺麗に見えて、満足でした。白馬鑓温泉の温泉は、山行の疲れを取るには最高でした。</p>
<p>費用概算</p>	<p>(交通費/人) 約41,000円 (山小屋/人) 猿倉山荘11,000円 白馬山荘/白馬鑓温泉13,000円×2</p>



